



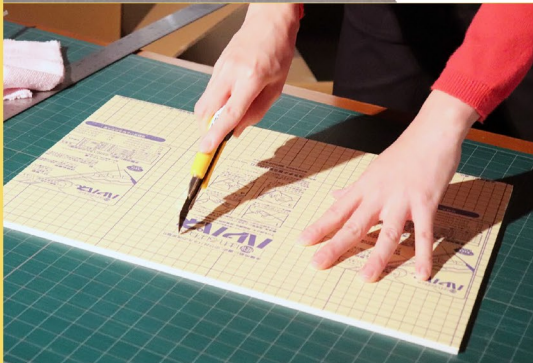
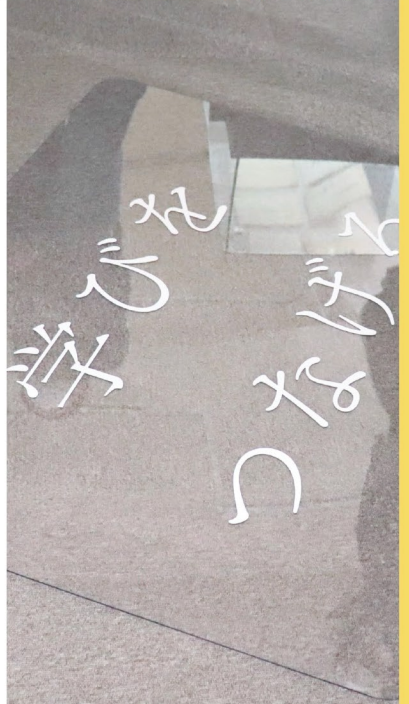


ミュージアムはまちの常備薬

なにかと大変な世の中をちよつとだけ楽に、あるいは楽しくしてくれるミュージアムというお薬の話

文化庁「令和5年度 大学における文化芸術推進事業」
北海道大学プラス・ミュージアム・プログラム



「ミュージアムはまちの常備薬」

なにかと大変な世の中をちょっとだけ楽に、あるいは楽しくしてくれる(かもしれない)、ミュージアムというお薬の話

報告者

| 今村 信隆 北海道大学文学研究院



深刻な人口減少や地域の縮小、自治体の財政難や災害との戦いなど、日本各地の地域社会をとりまく課題は少なくありません。そのようななかにおいて、ミュージアムの活動やコレクションは、何をもたらすことができるのか。社会の呼吸を楽にする、ミュージアムの潜在力を再考します。

開催日時と会場

日時: 2024年1月28日(日)
10時～12時
会場: 北海道大学
学術交流会館小講堂

申込方法

事前のお申し込みが必要です。右のQRコードをスキャンして、申込フォームより申し込みください。

申込方法



申込期限 1月26日(金)13時

プログラムについて

わたしたちを取り巻くこうした様々な課題に、ミュージアムならではのやり方でアプローチする方法を学ぶ3年間のリカレント教育プログラムです。2023年度は、より具体的な問題に的を絞って、個々のケースに寄り添うことで学びを深めていくことを目指します。

プログラムについて

主催: 北海道大学文学研究院
共催: 北海道大学総合博物館
助成: 文化庁「令和5年度 大学における文化芸術推進事業」(事業名「ミュージアムにおける異分野との「対話」と「寄り添い」を通じた人材育成事業」)

お問い合わせ先

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目 北海道大学文学研究院内「プラス・ミュージアム・プログラム」事務局
✉ plusm@let.hokudai.ac.jp
☎ 011-706-3912
011-706-4053